



《企業紹介》

同社は、1957 年に財務省によって設立されたベトナム建設銀行を前身とするベトナムで最も古い銀行である。1981 年にベトナム国立銀行の傘下となり、1990 年に現社名となった。国営 4 大銀行の一つで、2025 年 3 月末の総資産額は上場銀行中で最大の規模を誇り、2025 年 1－3 月期の税前利益は上場銀行中 3 位となっている。同社の強みは政府系金融機関としての信用力と、全国 63 省・市に展開するネットワーク（支店 189、出張所 926）に裏打ちされたリテールバンキングでの存在感であり、住宅ローン、消費者ローン、ビジネスローンなどの個人向け融資が成長のドライバーとなっている。

《2025 年 7－9 月期業績》

2025 年 7－9 月期の営業収入は前年同期比 22.6%増の 21.1 兆 VND（ベトナムドン）だった。金利収入（対応費用を差し引いた純額、以下収入は全て純額）が同 8.5%増の 15.1 兆 VND だった。貸出債権残高は同 14.8%増の 2,197 兆 VND となったが、資金調達コストの増加ペースがグロスの金利収入の増加ペースを上回り、預貸利ザヤが悪化したため、金利収入の増加ペースは貸出債権残高のそれを下回った。手数料等収入はコストの低下によって同 17.5%増の 1.7 兆 VND となった。その他収入は、外国為替売買益の増加、有価証券売買損益や投資有価証券売却損益の大幅な黒字転換によって同 136.8%増の 4.2 兆 VND となり、営業収入全体の増加を牽引した。

税前利益は同 16.9%増の 7.5 兆 VND、純利益は同 15.6%増の 5.9 兆 VND となった。営業費用が同 16.8%増の 7.3 兆 VND だったが、貸倒関連費用が同 38.9%増の 6.0 兆 VND となり、税前利益や純利益の増加ペースは営業収入のそれを下回った。

貸倒関連費用の増加が貸出債権残高の増加ペースを上回ったため、貸倒比率は同 0.2%ポイント上昇の 1.1%となった。ただし、同社の不良債権残高に対する貸出引当金残高は 100%を超えており(2024 年 12 月末時点)、貸倒関連費用が今後継続的に大きく増加するリスクは小さいと考えられる。資産の安全性に大きな余力を残しており、資金調達でも高い競争力を有しているといえるだろう。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	17,258.6	-3.5	26,405.3	28.2	17,898.4	4.2	22,089.9	9.2	21,154.2	22.6
（うち金利収入）	13,989.7	1.5	15,638.8	5.2	13,945.6	3.0	14,991.7	1.0	15,172.6	8.5
（うち手数料等収入）	1,475.0	-16.4	1,966.7	21.6	1,538.9	-9.1	1,887.4	-2.7	1,733.5	17.5
（その他収入）	1,793.9	-23.3	8,799.9	113.8	2,413.9	24.6	5,210.8	51.1	4,248.0	136.8
営業費用	6,307	4.3	9,382	19.8	5,907	9.5	7,367	9.8	7,367	16.8
貸倒関連費用	4,453	-25.2	7,687	57.4	4,578	4.3	6,098	13.8	6,186	38.9
税前利益	6,498	10.3	9,336	18.4	7,413	0.3	8,625	5.7	7,594	16.9
純利益	5,151	12.4	7,328	20.6	5,840	0.5	6,756	6.1	5,953	15.6
貸出債権残高	1,914,428	18.8	2,017,266	16.1	2,068,679	18.0	2,141,444	16.1	2,197,471	14.8
貸倒比率(年換算、%)	0.9	-	1.5	-	0.9	-	1.1	-	1.1	-

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額

注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20251106

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ベトナム投資開発銀行(BID)



《株価の推移》

同社の株価と VN 指数の 2024 年終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価は 3 月初旬まで VN 指数をアウトパフォームしていたが、その後はアンダーパフォームに転じている。11 月 5 日終値時点で VN 指数が 2024 年末比 31% の上昇となっているのに対し、同社の株価は 3% の上昇に止まっている。11 月 5 日終値 38,650VND で計算した時価総額は 271.3 兆 VND で、これは 2024 年 12 月期実績の純利益 24.8 兆 VND に対して 11 倍の水準となっている。

期待されていた預貸利ザヤの改善が遅れていることがアンダーパフォームの要因と考えられる。預金の獲得競争が厳しくなっていること、旺盛な資金需要を背景に銀行間の借入金利に上昇圧力がかかっていることなどが調達コストを押し上げているようだ。ベトナムの民間の資金需要は旺盛であり、前年比で 2 桁を超える貸出債権残高の増加ペースは続くものと考えられ、預貸利ザヤの悪化が止まれば、同社の金利収入の成長が主導する形での利益成長が期待できる。パフォーマンス改善の鍵は預貸利ザヤが握っているといえるだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20251106

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。